

南鴻沼遺跡

さいたま市中央区大戸 1 丁目にある縄文時代中期～晩期の遺跡
浦和駅の西、約 1.8 km、別所沼西側、北に向かって入り込む標高約 6m の鴻沼低地に所在する

昭和 55 年、工事中に遺跡が発見された

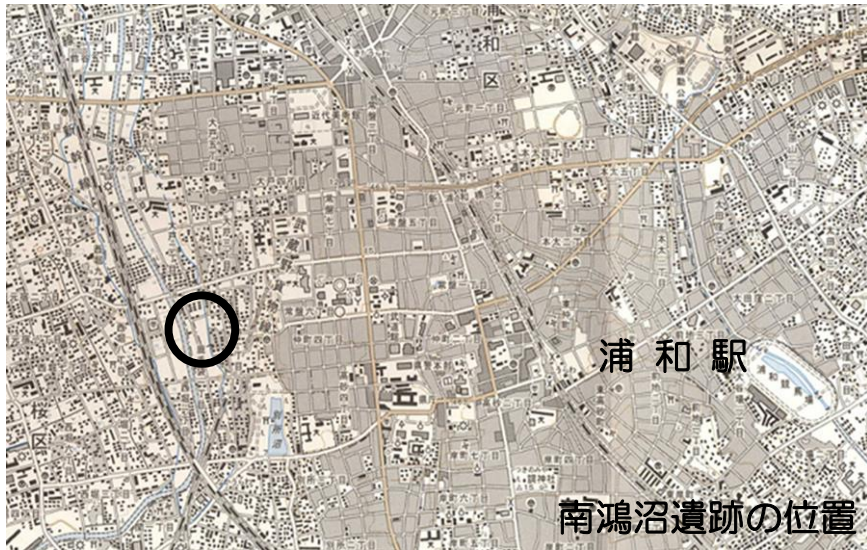
さいたま市都市計画道路町谷本太線の建設工事に先立って、平成 23 年 11 月～25 年 3 月にかけて発掘調査を実施

道路部分の調査を実施 発掘調査の面積：約 500 m²

低地に所在していた遺跡 土器や石器などの他に通常は残りにくい木の道具や植物などが発見され、縄文人たちの暮らしの様子がより明かになった

発掘調査の成果

- 水場遺構 今から約 4,200～4,400 年前 縄文時代後期前半
水の利用のための施設
- 丸木舟 4 艘発見された：縄文時代中期、後期のもの
比較的小型の船 1 艘は後に別の用途に利用された？
- 植物性の遺物の発見
 - 木製品 片口、大きな鉢などの容器
石斧の柄、櫛、弓
 - 漆の利用 漆の容器などもあり、漆を利用していた
塗料・接着・塑形など
櫛、弓、漆器など発見
漆の塗り方 朱とベンガラの使用
 - 掻き傷のあるウルシの木
今から約 4,700～4,900 年前 縄文時代中期後半
現在のところ日本で最も古いもの
漆の採取を行っていたことがわかる資料
- 編組製品 植物を編んで作ったかごなど
- 植物の利用 食料・材料として利用
クリ、トチ、クルミ、カヤ、ヒシなど
クリ・トチ：殻が集中して発見
- 魚骨なども発見
- 土器についてのおこげ
食生活がわかる資料：土器で何を煮炊きしたか



丸木舟出土状況



漆塗りの櫂



石鏃 漆による接着



漆塗り木製品